

がっこう せんせい
**学校の先生たち
 おすすめ**

うちどく ブックリスト

しょうがっこう
 ていがかん ほん

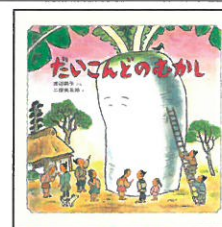
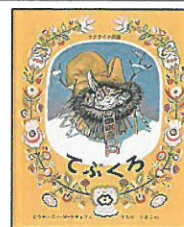


「うちどく(家読)」とは、家族で読書(かぞくどくしょ)をすること。家族みんな(かぞくみんな)で本(ほん)をよんで、その本(ほん)について話(はな)したら、それが「うちどく」です。
 「うちどく」で家族(かぞく)のきずなを(な)か 深め(ふか)ましょう!

<p>三びきのやぎのからがらどん マーシャ・ブラウン/え せた ていじ/やく 福音館書店 1965ねん ¥1200</p> <p>やま くさ ふと 山の草(くさ)をたべて(ふと)太(お)ろうとする 3匹(びき)のヤギ(やぎ)のからがらどん と、谷川(たにがわ)でまちうけるトル (おに)の対決(たいけつ)の物語(ものがたり)。ブラウ ンの絵(え)には北(ほく)欧(おう)の自然(しぜん)が見事(みごと) に再現(さいげん)されています。</p>	<p>アレクサンダとぜんまいねずみ レオ・レオニ/作 谷川 俊太郎/訳 好学社 1978ねん ¥1456</p> <p>ねずみのアレクサンダは、子 どもたち(こ)にちやほや(おもちゃ)される 玩具(おもちゃ)のぜんまいねずみ(ねずみ)がうら やましくて仕(しか)たありません。 ところがある日(ひ)…。</p>	<p>ふたりはともだち アーノルド・ローベル/作 三木 卓/訳 文化出版局 1978ねん ¥950</p> <p>教科書(きょうかしょ)にもものっている、アー ノルド・ローベル(ローベル)が書いた、 友情(ゆうじょう)物語(ものがたり)。ちょっとぬけてる けど心(こころ)やさしい(やさしい)がまくんと、 りくつ(りくつ)っぽい(っぽい)けどか(か)しい かえる(かえる)くん。5つ(ご)のお話(はなし)がの っています。</p>

		<p>げんざいこうにゆう 現在(げんざい)購入(こうにゆう)できる版(ばん)の出版(しゅつばん)年(ねん) を掲載(こうがい)しています。 価格は(かかく)2016年(ねん)10月(がつ)末(まつ)現在の(げんざい) 本体(ほんたい)価格(かかく)です。</p> <p>掲載(こうがい)については出版(しゅつばん)社(しゃ)の許諾(きょだく) を得(え)ています。 無断(むだん)で転載(てんさい)する(こと)を禁(きん)じま す。</p> <p>○印(しるし)が(つ)いた本(ほん)の(ない)内容(りよう)紹介(しょうかい) は、TRC マーク(マーク)を使用(しよう)していま す。</p>
<p>かわいそうなぞう つちや ゆきお/ぶん たけべ もといちろう/え 金の星社 1970ねん ¥1100</p> <p>せん(せん)そう(そう)中(ちゆう)に東京(とうきょう)のどうぶ つえん(えん)で本(ほん)当(たう)にあ(あ)ったお話(はなし)。 そう(そう)がにげだ(だ)したら、たい(たい)へ ん(ん)なので、どく(どく)入(い)りのえ(え)さ(さ)や ちゆう(ちゆう)しゃ(しゃ)で(で)ころ(ころ)される(さ)ること になりました。さい(さい)ご(ご)には、え(え)さ(さ)も水(みず)を(を)や(や)ら(ら)ない(ない)こと(こと)にな って(な)りました。</p>	<p>ぐりとぐら 中川 李枝子/文 大村 百合子/絵 福音館書店 2007ねん ¥900</p> <p>おり(おり)よう(よう)り(り)する(こと)、食(た)べる こと(こと)が大(だい)す(す)きな(な)ぐり(り)とぐ(ぐ)ら。 森(み)で、大(だい)きな(な)大(だい)きな(な)たま(たま)ご(ご)を 見(み)つけ(つ)けました。2(に)ひ(ひ)き(き)で(で)そう だ(だ)ん(ん)して(して)大(だい)きな(な)カ(カ)ステ(ステ)ラ(ラ)を(を)作(つく) る(こと)に(に)しま(ま)した。森(み)の(の)どう ぶ(ぶ)つ(つ)た(た)ち(ち)も(も)あ(あ)つ(つ)ま(ま)って(て)き(き)ま した(よ)。</p>	<p>2017年1月発行 大洲市小中学校 大洲市立図書館</p>

<p>みずべのとり くちばしのすかん 村田 浩一/監修 金の星社 2015ねん ¥2300</p> <p>みず 水(みず)にとび(とび)こん(こん)で(で)さ(さ)かな(な)をと(と)ら(ら)える(る)カ ワ(ワ)セ(セ)ミ(ミ)の(の)す(す)ど(ど)く(く)と(と)が(が)た(た)く(く)ち(ち)ば(ば)し や、え(え)も(も)の(の)や(や)そ(そ)の(の)とり(とり)か(か)た(た)にあ(あ)った か(か)た(た)ち(ち)を(を)した(した)シ(シ)ギ(ギ)の(の)な(な)か(か)ま(ま)の(の)く(く)ち(ち)ば し、し(し)つ(つ)げ(げ)ん(ん)で(で)え(え)さ(さ)を(を)と(と)る(る)タン(タン)チョ ウ(ウ)の(の)ほ(ほ)そ(そ)な(な)が(が)い(い)く(く)ち(ち)ば(ば)し(し)など(ど)、う(う)み や(や)み(み)す(す)う(う)み(み)や(や)川(がわ)な(な)ど(ど)に(に)くら(くら)す(す)とり(と) ち(ち)の(の)く(く)ち(ち)ば(ば)し(し)を(を)紹(しょう)介(かい)しま(ま)す。 ○</p>	<p>いのちのはなし グーチョコキパー もうり ひろこ/作 みずせき ゆりえ/絵 エイデル研究所 2010ねん ¥1429</p> <p>お母(お)さん(さん)の(の)お(お)腹(はら)の中(なか)で、グ(グ)ー(ー)の大 き(き)さ(さ)から(から)少(せう)し(し)づ(づ)つ(つ)成(せい)長(ちやう)し(し)、赤(あか) ちゃん(ちゃん)は(は)う(う)ま(ま)れて(て)き(き)ま(ま)した(た)。そ(そ)し て、み(み)ん(ん)な(な)を(を)支(さ)えて(て)い(い)る(る)心(しん)臓(ぞう)も、 グ(グ)ー(ー)の(の)大(だい)き(き)さ(さ)な(な)です(す)。命(いのち)や(や)体(てい) の(の)す(す)ば(ば)ら(ら)し(し)さ(さ)、生(い)きて(て)い(い)る(る)こと(こと)の す(す)ば(ば)ら(ら)し(し)さ(さ)を(を)語(かた)り(り)か(か)ける(る)絵(え)本(ほん)。</p>	<p>もぐらバス 佐藤 雅彦/原案 うちの ますみ/文絵 偕成社 2010ねん ¥1000</p> <p>もの(もの)お(お)きの(きの)した(した)1(いち)ち(ち)ょう(じょう)め(め)、だ れ(だ)れ(れ)か(か)ん(ん)ち(ち)の(の)に(に)わ(わ)3(さん)ち(ち)ょう(じょう)め(め)。 こ(こ)ん(ん)な(な)停(てい)留(りゅう)所(じょ)が(が)あ(あ)る(る)、も(も)ぐ(ぐ)ら バ(バ)ス(ス)の(の)じ(じ)め(め)ん(ん)した(した)に(に)の(の)び(び)る(る)小(ちい)さ(さ)な ト(トン)ネ(ネル)ル(ル)を(を)、行(い)っ(っ)た(た)り(り)来(き)た(た)り(り)し て(て)い(い)る(る)の(の)です(す)ー。「ピ(ピ)タ(タ)ゴ(ゴ)ラ(ラ)ス イ(イチ)ッ(ツ)チ」の(の)制(せい)作(さく)者(者)コン(コン)ピ(ピ)が(が)贈(おく) った(た)の(の)しい(い)絵(え)本(ほん)。</p>



しっばいにかんぱい!

宮川 ひろ/作
小泉 るみ子/絵
童心社
2008ねん ¥1100

1年生からずっと、リレーの選手に選ばれてきた加奈。ことはアンカーをまかされました。ところが運動会のリレーで、まさかのしっばいをしてしまい、おちこんでしまいます。そんなとき、おじいちゃんから電話が…。 ○

ふしぎなキャンディー屋さん

みやにし たつや/作絵
金の星社
2007ねん ¥1200

ブタくんが森の中でみつけたふしぎなキャンディー屋さん。「ここにあるキャンディーをなめると、ふしぎなことが起こるよ」タヌキのおじさんにすすめられて、ブタくんが黄色いキャンディーをなめると…。 ○

だいくとおにろく

松居 直/再話
赤羽 末吉/画
福音館書店
2007ねん ¥900

うでのいい大工が大きな川にはしをかけることになりました。本当にできるか、しっばいになった大工の前に、大きなおにがあらわれました。さて、どうなることか、大工とおにのちえくらべ。

てぶくろ ウクライナ民話
エウゲーニー・M・ラチョフ/え
うちだりさこ/やく
福音館書店
1965ねん ¥1000

手ぶくろにねずみがすみつきました。「わたしも、入れて」「ぼくも、入れて」とかえる、うさぎ、きつねがやってきて、手ぶくろは少しずつ大きくなり、今にもはじけてしまいそうです。

だいこんどのむかし

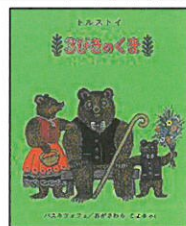
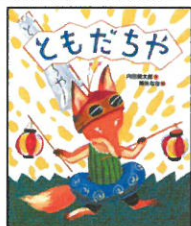
渡辺 節子/ぶん
二俣 英五郎/え
ほるぷ出版
1984ねん ¥1450

たった一つのだいこんがめを出しました。大きく大きくそだっただいこんは大きなはであらしや大雪から村人をまもってくれました。はじめは、ありがたがったのですが、なれてしまうと、せわがめんどろになり……。

おしゃべりなたまごやき

寺村 輝夫/作
長 新太/画
福音館書店
1972ねん ¥1200

たまごやきが大好きな王さまのお話です。王さまは、ぎゅうぎゅうづめのにわとりをかわいそうに思っ、て、にがしてしまいました。へいたいたちは、はん人をさがします。まさか、めだまやきがしゃべりをはじめるとは……。



ともだちや
内田 麟太郎/作
降矢 なな/絵
偕成社
2011ねん ¥1000

ある日、キツネは「友だち屋さん」を始めを思いつきました。1時間100円で友だちになってあげるのです。森で一番のさびしんぼうのキツネは友だちを上手に作れるでしょうか。 ○

十二支のはじまり

岩崎 京子/文
二俣 英五郎/画
教育画劇
1997ねん ¥1200

昔、ある年の暮れ、神さまが動物たちにおふれを出したんだ。「正月の朝、ごてんに来るように。来たものから順に12ばんまで、その年の大将にする」ところがねずみはねこにうそを教えて…。 ○

3びきのくま

トルストイ/ぶん
バスネツォフ/え
おがさわら とよき/やく
福音館書店
1996ねん ¥1100

くまの一家が出かけている間に、くまの家にまよいこんだ女の子。こぐまのおかゆをぜんぶ食べてしまい、小さなベッドで女の子はねむってしまいました。そこにくまたちがかえってきて……。

きいろいばけつ

もりやま みよこ/作
つちだ よしはる/絵
あかね書房
1985ねん ¥900

きつねの子が、きいろいばけつを見つめました。きつねの子は、前からこなばけつがほしかったのです。もってみたり、水を入れてみたり、それはそれは楽しい一週間でした。

花いっばいになあれ

松谷 みよ子/さく
司 修/え
大日本図書
1982ねん ¥1300

子どもたちが、「花いっばいになあれ。」と言って、花のたねをつけたふうせんをとばしました。その一つが子ぎつねコンのところに、おちてきました。コンはびっくり。やがて、たくさんの金色の花がさきました。

どうぞのいす

香山 美子/作
柿本 幸造/絵
ひさかたチャイルド
1981ねん ¥1000

うさぎさんが作った「どうぞのいす」。ロバさんが、うとうとねむっているあいだに、いろいろなどうぶつがやってきて……。目をさましたロバさんがどんぐりをもってかえろうと思ったら、あらびっくり!